



静岡県立農林環境専門職大学

R8アグリフォーシ公開講座

有機茶栽培実践講座

1 趣旨

海外での緑茶需要の増加などを背景として有機茶の生産面積が拡大していることから、有機茶生産者の育成および技術向上を目的として、有機茶生産に必要な技術や知識を学ぶ研修を実施します。

2 研修場所

静岡県立農林環境専門職大学（磐田市富丘678-1）

※ 一部の講座は茶業研究センター（菊川市）で実施



公式Webサイト

ACCESS

電車・バスで来校の方

■ 東京方面より

新幹線「JR掛川駅」下車、東海道本線に乗り換え東海道本線「JR磐田駅」下車。

■ 名古屋方面より

新幹線「JR浜松駅」下車、東海道本線に乗り換え東海道本線「JR磐田駅」下車。

JR磐田駅北口のバスロータリー2番乗り場より、遠鉄バス「ららばーと行き」又は「二俣 山東行き」に乗車。「図書館前」で下車。徒歩10分程度。

自動車で来校の方

豊田東I.C.で降りて県道44号線に、県道44号線を南下し、2つ目の信号（見付変電所）を右折、看板を左折し上り坂の突き当りを左折。



3 講座の内容

有機茶栽培実践講座

- ◆目的 有機茶生産に関する基礎的知識や基本技術について講義・実習を行い、これらの知識・技術を実際の生産場面でどのように活かしていくかを学ぶ。
- ◆対象者 これから有機栽培を始めたい茶生産者、既に有機栽培を行っている茶生産法人の若手従業員、JAの若手の営農技術員など
- ◆受講料 無料
- ◆定員 10人以内
- ◆内容 講義と実習を並行して行い、有機茶生産における留意点、病害虫対策、施肥、被覆、除草、品種選定など、主に栽培管理に係る一連の基礎技術を学習します。
- ◆持ち物 茶園での作業が可能な服装でお越しください。
- ◆備考 初回はオリエンテーションを含めて行います。法人等の場合、原則として同一の受講者が出席してください。

回	開催時期	内 容		講 師
1	5月28日 (木)	講義	有機 JAS 制度の概要、 有機茶生産と流通の現状	県庁食と農の振興 課職員 (外部)
		講義	有機茶生産における留意点、 有機茶試飲	有機茶アドバイザー 後藤 (外部)
2	7月上旬 (7月9日を予定)	講義	有機栽培の病害虫対策	教授 小澤、教授 外側、教授 金子
		実習	二番茶後のせん枝技術 (実証試験の説明等)	教授 鈴木
3	9月上旬	講義	除草の機械化技術	落合刃物工業担当 者 (外部) ほか
		実習	乗用型除草機等の実演	
4	11月上旬	講義	有機栽培の施肥・土づくり、 肥効アプリの利用	茶業研究センタ ー研究員
		講義	てん茶用被覆栽培技術、 有機てん茶の評価	
5	3月中旬	講義	有機茶に向く品種の選定	未定
		実習	有機茶向け品種の定植 (実演)	日本紙通商担当者

※ 第4回の会場は、茶業研究センター（菊川市）の予定です

※ 内容、講師は若干変更する場合があります

4 受講について

(1) 研修申し込み

- ・別紙「研修申込書」を令和8年5月8日（金）までに下に記載の[送付先]あて御提出ください。
- ・申込書の提出方法は、郵送又は電子メールとします（FAXでは受け付けません）。本学に直接お申し込みください。
- ・各講座の定員を超えた場合、本学において選考を行い、受講者を決定します。
- ・受講の可否については、御応募いただいた全員の方に、提出期限以降に通知いたします。

[送付先]

〒438-8577 磐田市富丘678-1

農林環境専門職大学 教務課

メールアドレス：noukandaikyomu@pref.shizuoka.lg.jp

(必要に応じて@を半角にしてください)

(2) 受講に当たっての留意事項

- ・開講時間は原則として13:15～16:00です。
- ・申込人数が定員に満たない場合や、自然災害・その他やむを得ない事態が発生した場合には、講座を中止することがあります。
- ・講座実施中の万一の事故に備えるため、各自であらかじめ傷害保険などへの加入をお願いします。

【お問い合わせ先】

○受講の申し込み、講座の内容に関するお問い合わせ

教務課 0538-31-7906

noukandaikyomu@pref.shizuoka.lg.jp

(必要に応じて@を半角にしてください)